



REBINDのニュース

ヒトゲノムチームの紹介

ヒトゲノムチームの役割

私たちは、REBIND事業におけるヒトのゲノム解析を担当しています。REBIND事業にご協力いただける患者様で、同意をいただいた方の血液から抽出したDNAを用いて、全ゲノムシーケンス解析、ならびに高精度のヒト白血球抗原（HLA）解析を実施しています。得られたデータは、広く研究に用いていただけるよう、REBIND利活用システムを通じて研究者の方々に提供しています。



ヒトゲノム解析とは？

ヒトの全ゲノムシーケンス解析は、文字通りヒトのゲノム情報を担っているDNAの塩基（A、T、G、C）の配列（シーケンス）を、網羅的に決定する手法です。次世代シーケンサーという機器を用いることで、高解像度で塩基単位のゲノムの全体像を短時間で取得できるようになりました。本解析で得られるデータを用いることにより、疾患や病態に関連する潜在的な原因バリエーションを同定できる可能性があります。一方、全ゲノムシーケンス解析には、解析上苦手とする遺伝子領域があり、配列が複雑なHLA領域もその一つです。HLAは、細胞が自己と非自己を認識する上で必須の分子であり、感染症や自己免疫疾患をはじめとした様々な疾患の発症リスクと関連していることが知られています。そこで私たちは、HLAはREBINDで取り扱う疾患においても極めて重要と考え、HLA領域に特化したシーケンス解析を別途実施し、高精度のデータを得ています。

ヒトゲノムチームからのメッセージ

REBINDにご協力下さっている患者様、協力機関、その他の関係者の皆様、いつもお力添え下さり、ありがとうございます。私たちは、私共の提供するヒトゲノムデータが、少しでも多く利活用され、疾患の治療や原因の解明といった研究成果につながることを願って、日々解析を進めております。ヒトゲノムデータを使った解析に少しでもご興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非お気軽に私たちまでお問合せ下さい。皆様からのご連絡をお待ちしております。

問い合わせ先 【REBINDヒトゲノムチーム】 Email : h_genome_rebind@hosp.ncgm.go.jp

REBIND紹介動画（1分ダイジェスト版）の紹介

REBINDの事業内容を分かりやすく説明する動画（約5分半）をREBIND便り Vol.2-No.4（2024年3月発行）にてご紹介いたしました。ご多忙な医療従事者の皆様のリクエストにお応えて再生時間1分のダイジェスト版を製作いたしました！この「ダイジェスト版」は短い尺ながらも、重要なポイントを逃さずにREBIND事業の概要をご理解いただける内容となっております。

「REBINDってどんなことしているの？ どんな試料・データを利活用できるの？」

そのような時、お急ぎの場合はダイジェスト版を、もう少し詳しく知る場合には5分半版をご覧ください。

更に知りたい方は

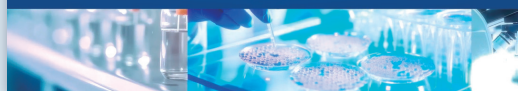
【REBIND事務局】
rebind-office@hosp.negm.go.jp までご連絡お待ちしております。

REBIND YouTube公式チャンネル

<http://www.youtube.com/@REBIND-jimukyoku>



新興・再興感染症に特化した
データバンク事業ナショナル・リポジトリ



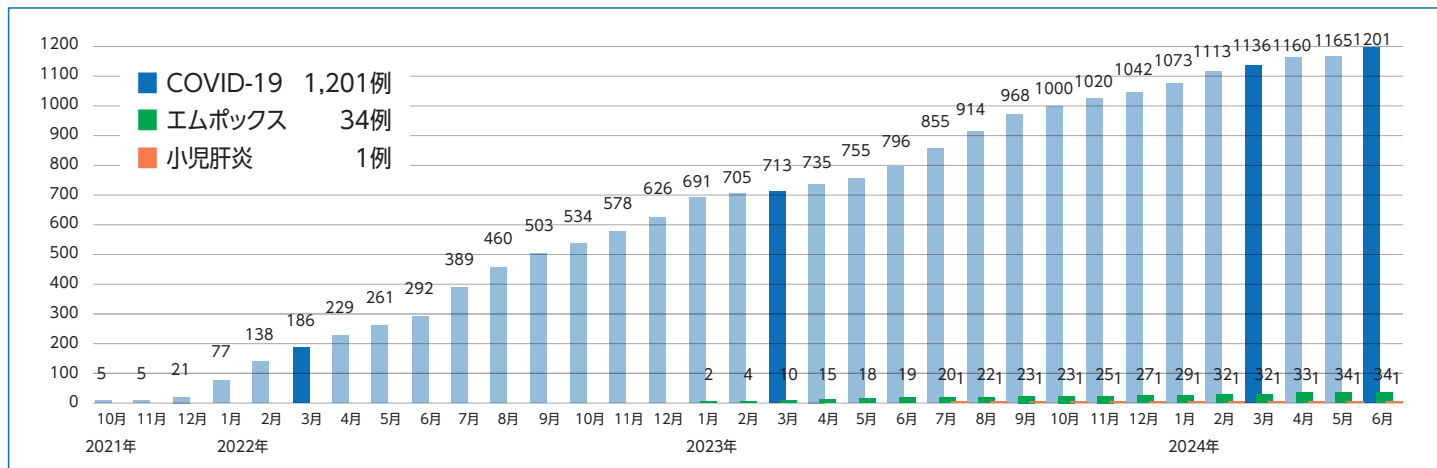
REBIND進捗状況

REBINDで現在、参加いただいているご施設の状況及び収集・保管している試料・情報の概要をお知らせ致します。

登録症例数推移（累積）

2021年10月～2024年6月18日

REBINDの同意説明文書を用いて、臨床情報や生体試料を前向きに収集し、研究協力機関等から提供いただいています。



参加施設状況

2024年6月18日現在

■試料・臨床情報

COVID-19：26施設参加
エムボックス：4施設参加
小児肝炎：1施設参加

■医療情報収集

16施設参加
うち8施設は収集システム導入済
8施設は収集システム導入作業中

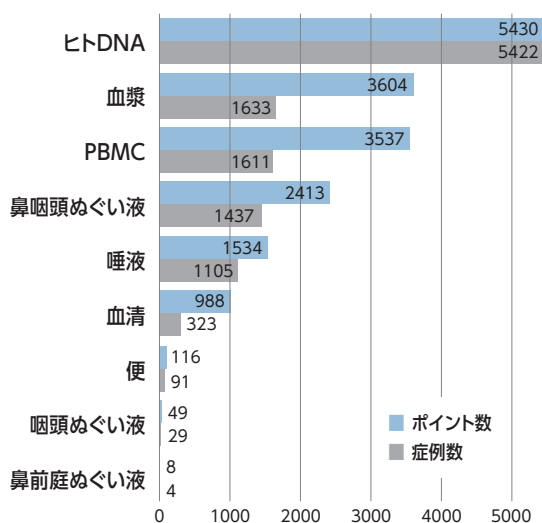
【REBIND同意取得数】（上位3施設）

1：NCGMセンター病院 646件
2：NCGM国府台病院 75件
3：練馬光が丘病院 56件

COVID-19

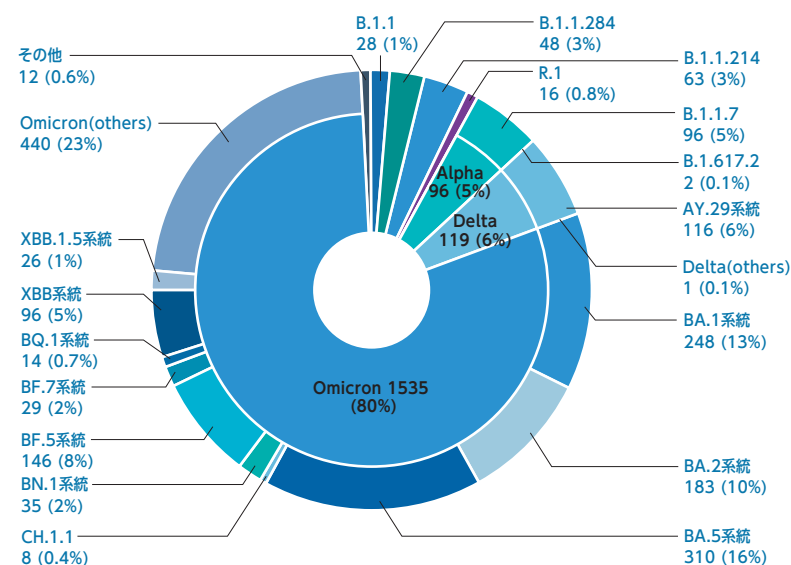
REBINDの同意説明文書を用いた前向き収集に加え、他の研究からREBINDへ提供いただいた試料・データを含みます。（2024年6月末現在）

■試料収集の状況



■ウイルスゲノム解析の状況

n=1,917



■その他の状況

- 分離ウイルス全ゲノム解析／分離ウイルス株：925件終了／1,010株分離
- ヒト全ゲノム解析：1,438例完了

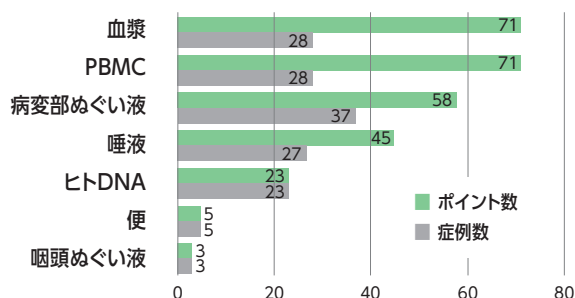
REBIND進捗状況

REBINDで現在、参加いただいているご施設の状況及び収集・保管している試料・情報の概要をお知らせ致します。

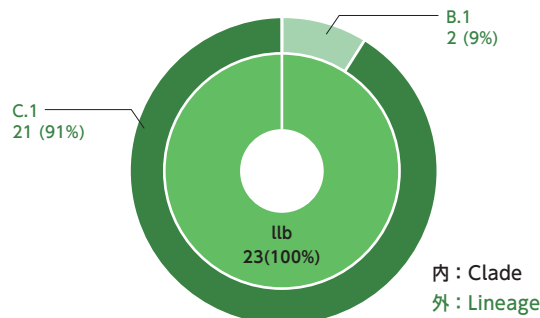
エムボックス

REBINDの同意説明文書を用いた前向き収集に加え、他の研究からREBINDへ提供いただいた試料・データを含みます。(2024年6月末現在)

■試料収集の状況



■ウイルスゲノム解析の状況 n=23



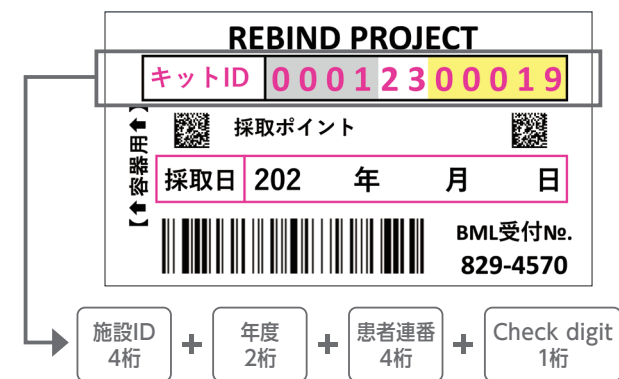
■その他の状況

- 分離ウイルス全ゲノム解析／分離ウイルス株：23件終了／30株分離
- ヒト全ゲノム解析：25例完了

NCGM臨床現場からお役立ち情報

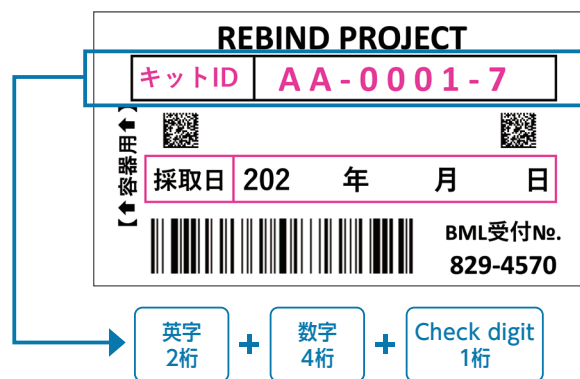
新キットIDの運用 2024年6月3日より、検体採取キットのIDを変更しました。変更内容と変更による影響については下の図をご覧ください。

旧キットID



- キットIDに年度が含まれ、年度替わりに入れ替えが必要
- REBIND-IDと同じ番号形式のため、同一患者の2回目以降の登録時、キットIDとREBIND-IDの区別がしにくい

新キットID



- 年度が変わっても引き続き使用が可能
- 番号の形式がREBIND-IDと異なるため、混同しにくい

< キットID変更に伴う注意点 >

- キットIDでは対象疾患の識別ができません。疾患名を確認してご使用ください。
- ポータルサイトIWRSに登録時のキットIDのハイフン有無は、どちらでも入力が可能です。
- IWRSの登録後、REBIND-IDとキットIDの対応を確認するにはポータルサイトより「REBIND-ID登録状況一覧」をご覧ください。
- EDC (REDCap) のキットID入力欄には、キットIDをハイフンなしで入力してください。

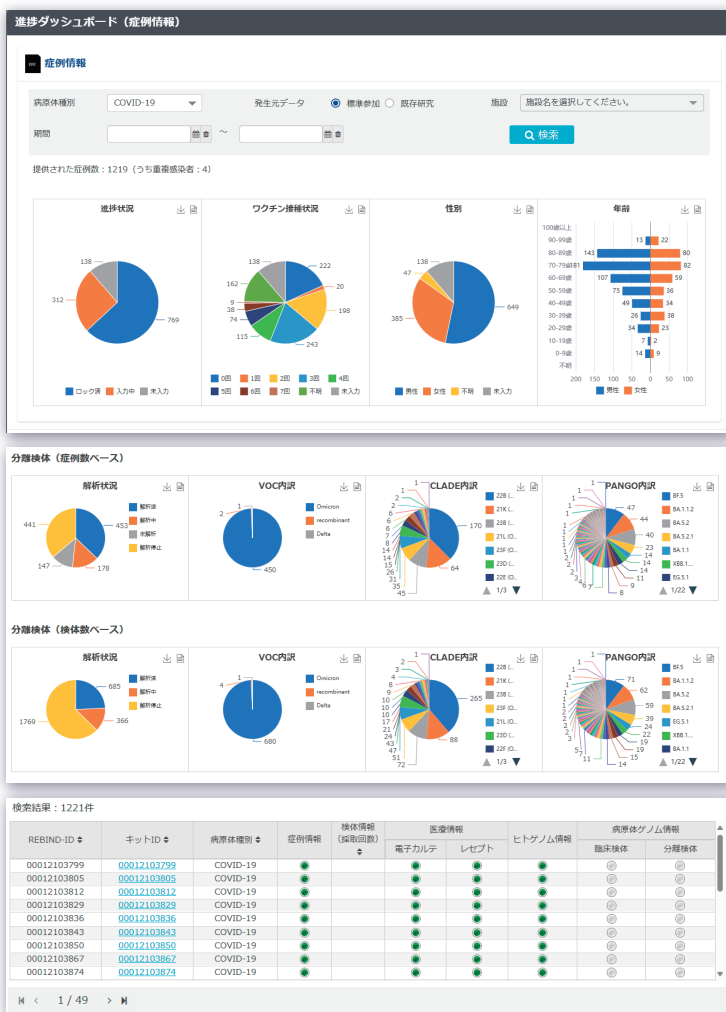
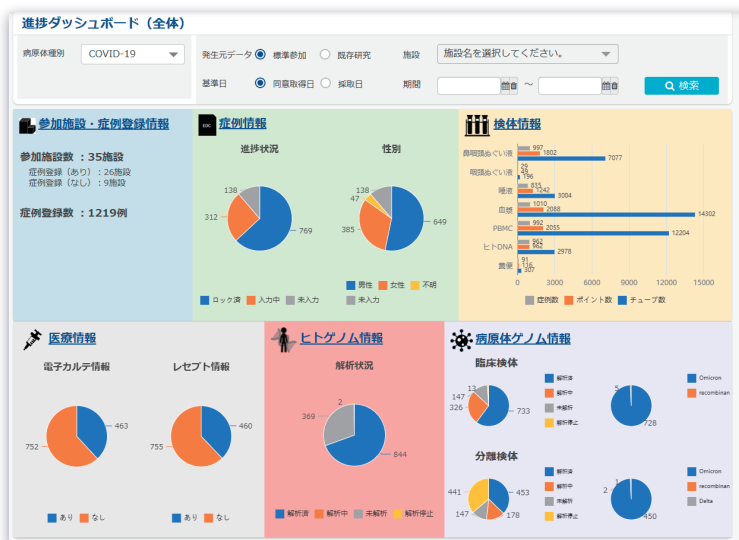
Topics

～ ポータルサイトのログイン後ページに進捗ダッシュボードを掲載 ～ 自施設の収集・解析状況がグラフでわかります！

REBINDにご参加いただいている各施設からご提供いただいた症例について、ご施設のみなさま側からは今までその収集・解析などの進捗状況が把握しづらくなっていました。

各施設のみなさまのご尽力によりご提供いただいた貴重な症例に関する進捗状況を、各施設のみなさまと共有することを目的に、試料収集やゲノム解析などの進捗状況をREBINDポータルサイトのログイン後トップページに表示させる新機能「進捗ダッシュボード」を2024年6月3日にリリースしました。

REBINDポータルサイトにログインすると、トップページとして表示されます(右図:全体を表示)。トップページ初期画面(全体)では全施設・全症例数を集計したデータが表示されます。画面上部で絞り込み検索が可能です。



詳細情報は以下5カテゴリーに分類・集計・表示されます。

- 1 症例情報(EDC/REDCapの情報)
- 2 検体情報(ご提供いただいた検体サンプル)
- 3 医療情報(電子カルテ・レセプトとのデータ連携にご同意いただいたご施設の場合、それらのデータ連結状況)
- 4 ヒトゲノム情報
- 5 病原体ゲノム情報(臨床および分離検体)

それぞれの情報カテゴリーのページでは、自施設の症例のみが集計対象です。各ページではより詳細な集計結果を得ることができます(左上図:症例情報、左中図:病原体ゲノム情報 - COVID-19分離検体)。

例えば症例情報の詳細ページ(左上図)ではEDCによる収集項目のうち主要な項目を、またCOVID-19検体に関する病原体ゲノム情報の詳細ページ(左中図)ではゲノム解析の進捗状況、VOC内訳、CLADE内訳、PANGO内訳を集計・表示します。各詳細ページのダウンロードアイコンから、集計データを表形式でダウンロードすることも可能です。

上メニュー項目「統合データマネージメント > 進捗一覧」からREBIND ID毎の5情報カテゴリーの進捗表を確認することもできます(左下図)。

ぜひご利用・ご活用ください！



発行日:2024年7月
TEL:03-3202-7181 MAIL:rebind-office@hosp.ncgm.go.jp
Address:東京都新宿区戸山1丁目21-1

Copyright ©National Center for Global Health and Medicine. All rights reserved.



<https://rebind.ncgm.go.jp/>